



社会福祉法人 三善会

〒795-0046 大洲市春賀甲1688番地

- 障害者支援施設 大洲ホーム
- 大洲・内子・八幡浜市障害者相談支援事業
- デイサービスセンター 春賀
- 在宅介護支援センター 春賀
- 訪問ケアステーション 春賀
- グループホームはるか
- 介護タクシー 春賀
- グループホーム春の風

TEL (0893) 26-1216

FAX (0893) 26-1217

ホームページ

<http://www.ecomnet.or.jp/~ohzuhome/>

メールアドレス

ohzuhome@ecomnet.or.jp

四季報

はるか

2020. 10月 No.135



10月8日

特別養護老人ホーム ぎおん

地鎮祭

理事長 渦尻敬治郎

三善会は、平成2年10月1日に法人認可

され、30周年を迎えました。

これを機に、地域密着型の特別養護老人ホーム『ぎおん』の建設が認可されJR八多喜駅前に建設致します。

設計 フォルム設計企画

施工 村上工業株式会社

※オープンは来年10月の予定

大洲市では、「チーム大洲」で地域福祉の向上に取り組むと宣言されています。

三善会は、その主旨に賛同して「きらめき八多喜」の町作りと福祉文化の向上に協力させて頂きます。

工事中は騒音等、大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます

新施設の名称

「ぎおん」決定

開設準備委員長 大西 三枝

令和3年10月、八多喜に開設を予定している新施設の名称を、「地域密着型特別養護老人ホームぎおん」と決定致しました。地域には、昔から慣れ親しまれた名称が数多く存在します。この「ぎおん」という名称も八多喜地域にとってその一つであろうと思います。新施設が「ぎおん」の名称のように地域になじみ、皆様に親しんで頂ける施設であるように、法人の基本理念のもと、「地域共生社会の実現」をコンセプトに事業運営して参ります。



地域密着型特別養護老人ホーム ぎおん完成予想図

七夕飾り

生活支援員 清水 博美

七夕が近付くと、利用者さんは短冊や七夕の飾り物の製作にかかります。

男子職員は、笹竹を竹林から切り出します。

七夕に竹かつぎ来る介護員

平高 浩二



多目的ホールの七夕飾り

今年の願い事は「早くコロナが終息しますように!」「豪雨災害から早く復興できますように!」自分の事よりみんなの為に祈りの言葉を添えました。

3密を避けて
バーベキュー

利用者代表 井上 良一

夏のバーベキューは、コロナ感染の3密を避けて家族の参加無しで行いました。

いつもと違う雰囲気戸惑いもありましたが「おいしかった!」の感想に安堵しました。



7月28日

3密を避けてバーベキュー

シトラスリボン運動

三善会では、新型コロナウイルス感染者や医療従事者への差別解消を目指す「シトラスリボン運動」を大洲市でも広げようと施設利用者がリボンを作り、地域の人達に配付して運動の輪を広げています。リボンは市販の紐でシトラスやオレンジ、紺などの色を使って作りました。多くの人が差別解消への理解を深めて下さればと願っています。



ストローで花火アート

生活支援員 宇都宮 梢

今年の夏はコロナ感染対策で水天宮花火大会が中止になったので、ストローを使って花火の絵を創作しました。

ストローに赤・青・黄の絵の具を色付けし、丁寧に重ね合わせていくと花火アートの完成です。「花火がきれいに画けた！」利用者さんの笑顔が一杯でした。

ストローで花火アートを
作りました。



大洲ホームの盆行事

生活支援員 中岡 真 有 実

お盆が近付くと、多目的ホールに精霊棚が設けられ弘法大師と亡くなられた利用者の写真が祭られ、宵盆には迎え火を焚いて仏様をお迎えします。

盆棚の写真の笑顔なつかしき

平高 浩二

今年のお盆は、コロナウイルス感染予防で西念寺住職をお招きすることができず内々で行いました。

仏様は、2泊3日滞在されて、送り火を焚いて見送りました。



祭壇に向って焼香する施設長

お月見

利用者 井上 良一

大洲ホームの中庭にテーブルを並べ、すすきを生けてお月見をしました。



すすきを生けてのお月見

お月見は、大洲名物のアツアツいもたきとおでんで中秋の名月を楽しみました。



大洲名物のいもたき

利用者は不要不急の外出を避けて頂き、職員にはコロナを持ち込まないよう厳戒体制を強いて頂きました。早くコロナウイルスが終息することを願っています。

避難訓練

サービス管理責任者 城本直也

今回、消防署の立ち合いで土石流想定で避難訓練を行いました。

大洲ホームの裏手には和田川があり、土石流の危険があり年に1度必ず訓練を行っています。

当日は地震が起きた後、裏手から土砂が施設内に流れ込んだという想定で訓練を行いました。各事業所も協力して迅速な避難が出来ました。



土石流想定避難訓練

納涼祭の思い出

自治会ひじかわ 会長

大澤 亮

自治会と家族会と大洲ホームで納涼祭を行いました。

今年はコロナで参加が難しい分、家族会から飲み物や景品などの支援を頂きました。

厨房の職員さんにも鉄板で焼きそばを頂きました。

職員さんにも「中庭花火師」になってもらい打ち上げ花火を上げてもらい、コロナ収束を皆で祈りました。

三角くじのイベントも行い、利用者さんも、職員さんも心が和んで良い夏の思い出になったかなと思いました。

8月27日



納涼祭での花火大会

利用者作品集

大洲ホーム文芸

俳句教室は、清水先生の御指導で毎月開催されます。今回は初夏から秋口にかけての作品を掲載しました。



清水先生の俳句教室

田植えする父の背中をながめてる	池田 有子
あじさいの彩にさそわれ山のぼる	寺田 聖子
梅雨入りやまだまだ続くマスクかな	徳山 聡
ホトトギスきれいな声をデリバリー	高田 栄作
父の日やホームワークの背に感謝	平高 浩二
内外に響くほら貝山開き	植田 勝芳
心地よくのどにつると心太	島崎 公代
七夕にシンギュラリティ起こるかな (人工知能)	徳山 聡
乾杯も少し離れてビアホール	平高 浩二
夏風邪に頭をよぎるもしかして	高田 栄作
向日葵やハンディキャップを笑ってる	徳山 聡

8月
26日

サマージャンボ

宝くじ

生活支援員 浅井 佑輔

コロナウィルス感染予防のため外出を控えている利用者の皆さんに、気分転換をしてもらおうとサマージャンボ宝くじを行いました。

利用者さんは、宝くじを引いて、当たった商品を手にするとほっこりいい笑顔でした。

宝くじを引き当て、笑顔の利用者さん！



秋の健康診断

看護師 池田 美紀

大洲ホームでは、春秋2回の健康診断を実施しています。

今回は利用者49名と夜勤をする介護職員39名が受診しました。



採血をする利用者さん

健康診断は3密を避け、距離を保ちながら胸部レントゲン、心電図、採血を行いました。

豪雨災害の義援金を贈る

自治会ひじかわ 会長 大澤 亮

今回の九州豪雨災害で熊本県など多くの地域で被害が出ました。2年前の西日本豪雨災害では、自分たちも多くの方に助けてもらいました。

大洲ホーム自治会（利用者の会）と職員でも何かできる事はないかと声を掛け合い、今回、集めた募金を大洲市三善連絡所に届ける事ができました。全国の被災された皆さんの1日も早い復興をお祈りしています。

頑張ってください。



義援金を大洲市三善
連絡所に届ける



◆◆◆◆◆ 大洲ホームの日中活動 ◆◆◆◆◆

大洲ホームの日中活動は、映画を観たり、カラオケをしたり、時には職員と外に出掛けたりと過ごし方はさまざまですが、一人ひとりが好きな事ができるように職員がお手伝いします。

るんるんテイクアウト



屋外リハビリ場は、いつもきちんと整備されています。利用者さんは三々五々に外に出て外気浴や団らんでゆったりした時間を過ごします。

DVD鑑賞



アニメの「コナン」や「トイストーリー」や映画の「メン・イン・ブラック」を鑑賞します。

足浴



温熱療法として足浴を行い、残存機能向上を図ります。

オセロゲーム



年に何回かはオセロ大会が開催されます。

カラオケ



カラオケは言語療法として行われます。カラオケボックス FREE DAM には、5,000曲が入っています。

土用の畳干し

生活支援員 玉田 寿幸

土用の畳干しや布団干しは大洲ホームの伝統文化です。大洲ホームの開園時には、畳敷きの和室が4部屋ありましたが、段々減って2部屋になりました。

8月23日

土用の畳干し



1年間の埃を払い、土用の強い日光消毒をして畳を部屋に戻すと、太陽の匂が得も言えぬ郷愁を誘います。



東中のクリーン活動

今回私たちの班は、大洲ホームの清掃に行きました。
あいさつをしてから、窓そうじを始めました。いろんなところで、大洲ホームの方たちとは関わりがあるので、少しでもきれいにしたいという思いで行いました。ケープルテレビの取材もあり少し緊張しましたが、協力して、窓・網戸を全てきれいにすることができました。今回のクリーン活動で、きれいになったときの達成感や、感謝される喜びを改めて感じる事ができました。この気持ちを忘れず、今後も合唱披露や車いすの贈呈などで、大洲ホームとの関わりを全校生徒で深めていこうと思います。

水成 真央

東中のクリーン活動

四季報はるか紹介

生活支援員 中岡 真実

四季報はるか春号の紹介をさせて頂きました。

人前で話すのはとても緊張しました。



四季報はるか紹介

新人紹介では、4ヶ月経過してみでの意見を聞いたり、利用者から見た新人のイメージを聞いたり、楽しめました。

お花見弁当の記事では、厨房の方から「利用者さんからおいしかった！の一言が励みになりました。」とコメントして頂きました。今回経験した事を次に繋いでいきたいと思っています。

九州豪雨災害の復興支援

ケアマネジャー 中岡 越子

このたびの九州豪雨災害では、特に熊本県が平成28年の熊本地震に続いて甚大な被害となりました。平成30年に大洲市を襲った西日本豪雨では、他県の皆様から給水や支援物資を頂きました。

今回は、御礼返しに三善会グループを挙げて、義援金とタオル、軍手など支援物資の募金を行いました。



支援物資を箱詰めする職員

被災された皆様に活用して頂ければ幸いです。
一日も早い復興をお祈り申し上げます。

グループホーム はるか便り

外部評価を受け
ました

所長 西本恵子

第3者による外部評価が行われ、担当者2名が来園されて調査を受けました。

7月
29日

第3者による外部評価

外部評価とは、厚生労働省の運営基準に則り第3者による評価が行われ、その結果が公表されるものです。

8月
17日 ブルーベリー狩り

介護員 水井みえ子

大洲ホームの果樹園のブルーベリーが食べ頃になり、利用者有志がブルーベリー狩りをしました。青紫色に熟した実を一粒一粒ていねいに摘み取られていました。

生のまま皮ごと食べるとブルーベリーそのもののおいしさがダイレクトに味わえます。体にも良いと言われています。



ブルーベリー狩り

8月
22日 かき氷

介護員 中岡ゆき

暑い日が続き、冷たい物が食べたいということで利用者さんと一緒にかき氷を作りました。

かき氷にイチゴのシロップ、練乳をかけて、おやつ時間に頂きました。

冷たくて美味しい！と皆さん喜ばれ、大好評でした。



かき氷をみんなで作りました。

転倒予防教室

所長 上満佐智子

笹本理学療法士(大洲ホーム職員)から転倒予防の指導を受けました。

6月
25日笹本理学療法士の
転倒予防教室

転倒予防には、下肢筋力アップと足指の訓練が必要だとして訓練を行いました。利用者さんは真剣にマスターされました。

グループホーム はるか便り

「おはぎ作り」

介護員 好崎 貴秀

お彼岸のおはぎ作りをレクレーションで行いました。

白米ともち米でご飯を炊き、ラップで包んでお団子を作りました。そして仕上げはあんこときな粉をまぶして完成です。

9月14日



お彼岸のおはぎ作り

利用者さんは、ワイワイと賑やかに、そして手際良く作って頂きました。

心もおなかも、大満足の様子でした。

障害者相談支援事業所便り

就労支援事業所見学

利用者 角石 きぬよ

働いてみたいなどの思いがあり、就労支援事業所「Sa おいでや内子」に見学に行きました。

初めてのことですごく緊張しました。行くまではどのような所か分からず、いろいろ想像していましたが、行ってみると自分にも出来そうな仕事がいいくつかあって、行ってよかったと思いました。

利用するかどうかまだ悩んでいるけれど、機会があれば働いてみようかと思っています。



「Sa おいでや内子」見学

念願の一人暮らしへ向けて

利用者 尾崎 則夫

今回、私は念願の一人暮らしへ向けて東温市のグループホームへ生活の場を移すことに決めました。

数年前より、施設を出て自分の好きなスポーツ観戦やライブ、働くことが出来る場の多い松山で暮らしたいと考えようになりました。

昨年から一人暮らしの出来る物件の見学に行けるよう段取り等をしていました

が、コロナウイルスの影響で施設にいる状態で見学に行くこと自体が難しくなりました。

思い切ってまずはグループホームへ移り、一人暮らしの出来る物件を探して理想の暮らしを始めることにしました。

尾崎君の自立支援は、堀内氏（平成27年）に続いて3人目となります。

大洲ホームは、施設から地域への自立移行を応援しています。



尾崎君の自立を応援しています。

デイサービスセンター 春賀便り

笑顔あふれる敬老会

介護員 石山 愛

デイサービス春賀には、この時期『デイ春賀長寿番付表』が掲示されます。利用者皆の中で最高齢百六歳を横綱とし前頭(九十三歳)まで。皆様「自分が上の方だと思ってたがまだまだだな。」と感心されていました。

敬老会では、ゲームや職員が仮装し歌や踊りを披露。その後長寿番付の関脇まで六名と米寿の方の表彰式を行いました。受賞を見て「私も元気で頑張ろう。」と決意される方、「踊りおもしろかった。」「大いしたよ。」と声掛けて下さる方。皆様に喜んで頂き嬉しかったです。また来年!!番付更新されるよう元気で春賀に来て下さいね。



最高齢 106 歳、前頭 93 歳敬老会

七夕飾り

介護員 藤原 奈津 枝

7月1日から7日まで、七夕の笹飾りの創作活動と笹飾り付けを行いました。

輪っかを作ってつなげたりハートや星形の紙をつなげたり、色んなアイデアを出して色々な笹飾りを作り、短冊を書いてもらいました。

とてもきれいな笹飾りが出来ました。

みなさん笑顔で創作活動に参加していました。



正面玄関の笹飾り



七夕飾り

夏祭り

介護員 山本 太紀

コロナ禍^かの中、感染予防をしっかりとやって夏祭りを行いました。金魚すくい、射的などをゲーム形式で行いました。



かき氷を楽しみました。

ひと汗かいて、かき氷が振る舞われると利用者さんは、しばし童心に返って会話が弾みました。

グループホーム 春の風便り

避難訓練

所長 徳森利弘

コロナ禍^かもあって、久々の避難訓練を行いました。

過日の超大型台風10号では高潮の心配がありました^そが、逸れてくれてよかったです。

地震、原発事故、火事など災難は何時起きるかわかりません。

万一に備えて日頃からの訓練が必要です。



長浜消防署の御指導で避難訓練を行いました。

80歳のお誕生日会

9月1日

介護員 谷田 恵

80歳のお誕生日会を行いました。みんなに「おめでとう」と声を掛けられ、照れくさそうに、ニコッと微笑まれています。

ハッピーバースデーの歌で盛り上がり、果物が大好きなので白玉入りフルーツポンチでお祝いしました。いつまでもお元気で来年も一緒にお祝いしましょうね♡



春の風では、コロナ禍で外出を自粛しています。

今日は、ストレス発散にレクリエーションを行いました。



お誕生日会

短冊に願いをこめて

介護員 大野 華織

七夕^{たなばた}が近付いて利用者さんは、願いを込めて短冊を作りました。



短冊に願いを込めて！

七夕^{たなばた}や記憶^{きおく}の底^{そこ}に

童唄^{わらべうた}

七夕の伝説は外国にもあるそうです。世界の人達が同じ空を見上げて同じように祈る不思議な縁を感じます。星空に国境はありません。

リレー随想

「人生は七転び八起き」

看護師 稲葉 公栄

今年の5月29日



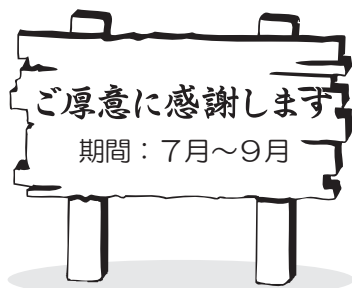
53年の人生の中で
予想もしていなかつ
た緊急事態に巻き

込まれてしまいました。

「実家が火事。早く帰ってあげて」と休憩中に手にした携帯に叔母から目を疑う様な文面が届いていた。急いで実家へと向かった。道中、様々な事が脳裏を巡る。あの時の衝撃は一生忘れる事はない。隣からの出火で貰い火を受け住める家では無くなってしまった。幸いにも、母と弟は仕事で不在だった為、難を逃れた。愛犬が背中に火傷を負い、一時は生命の危機もあったが現在は回復に向かってる。

更地となった実家に例えようのない悲しみを感ずるが、気持ちの整理をつけ、前に進むしかない。後ろを振り返らずただ前を向いてこれからも歩んでいこうと思う。

● 楠本富男様 (愛南町)
● 古岡智稔様 (柚木)



● 明治安田生命様 (大洲市)
● 竹内カメ子様 (伊方町)
● 坂田安香様 (八幡浜市)
● 曾根紀子様 (肱川町)
● 池田正茂様 (新谷)
● 沖みよこ様 (大洲市)
● ボランティア
● 泉美佐子様 (八多喜町)
● 清水星凜様 (長浜町)
● 東中生様 (八多喜町)
【順不同】

お知らせ

新型コロナウイルス感染予防のため、2月より自粛していた「百歳体操」を10月から再開致します。



私達は新型コロナウイルスを正しく恐れ、冷静に対応して参ります。

皆々様の御協力をお願い致します。

編集後記

秋は夕暮れ。青からあかね、紫と移ろう薄明かりが物寂しい季節になりました。

この道や行く人なしに

秋の暮れ

松尾芭蕉

本号は、初夏から秋口にかけての暮らしの一端を切り取って編集しました。

今回も多くの方々のご投稿を頂きました。ご協力に感謝します。

ひと言...